

地震対策オペレーション2026（大規模図上訓練）の実施結果

（危機管理部危機対策課）

1 要旨

本年度に実施した全職員参集訓練や総合防災訓練等、年間訓練の集大成として、大規模地震の発生を想定した本部運営訓練を実施し、県が行う災害応急対策の習熟を図った。

訓練には、消防、警察及び自衛隊等の応援部隊に加え、本県の即時応援県等に指定された富山県、岩手県及び仙台市やライフライン各社など、様々な防災関係機関の参加の下、連携体制を確認した。

2 概要

日 時	令和8年1月16日(金)午前8時30分から正午まで
場 所	県庁別館5階危機管理センター、別館9階第1特別会議室等
参加機関	国、即時応援県等（富山県・岩手県・仙台市）、県（全部局）、県教育委員会、市町、防災関係機関（自衛隊、県警、消防、海上保安庁及びライフライン各社等）、JVOADほか (参加人数/約30団体、約7,000人)
訓練内容	発災後、24時間が経過した想定で訓練を開始 ・南海トラフ地震発生時の「即時応援県等」との連携確認 ・能登半島地震における教訓への対応 ・「南海トラフ地震における静岡県広域受援計画」の改定に向けた検証

3 成果

- ・富山県、岩手県及び仙台市と、県内市町の被災状況や同県市の応援体制を踏まえた被災市町への職員派遣の調整等を行い、本県と即時応援県等との連携に加え、即時応援県等との連携も確認できた。
- ・能登半島地震で有用性が注目された衛星インターネットサービス（スターリンク）を活用してFUJISAN上で本部・方面本部間の情報伝達を行い、地上系インターネット不通時も通信環境を確保できることを確認した。

4 訓練風景

本部員会議



方面本部との活動調整会議



幹部を交えた災害応急対策の検討



災害対策本部における災害応急対策

